● 北九州市　中小企業支援情報 ●　Vol.284（毎月1日発行）

ネットワーク北九州

2011. 8

NETWORK KITAKYUSHU

第2回 北九州オンリーワン企業 認定式・記念講演会を開催

去る6月28日、北九州イノベーションギャラリーにおいて「第2回北九州オンリーワン企業認定式・記念講演会」が開催されました。国内外のマーケットにおいてオンリーワンの技術・製品を提供する中小企業5社を北九州市がオンリーワン企業に認定し、市の看板企業として情報発信や販路開拓を支援していくものです。認定式には約100名の企業経営者や市民等の参加がありました。

北九州オンリーワン企業

kitakyushu only one company 2011

■アジア技研株式会社
スタッド溶接ロボット

■計測検査株式会社
移動体トンネル計測新システムMIMM[ミーム]

■熱産ヒート株式会社
①溶接歪取用高周波誘導加熱装置
②局部予熱・後熱用高周波誘導加熱電源

■株式会社村上精機工作所
ユーラスバイブレータ

■株式会社陽和
3種の複合技術(成形･切削･溶着)を用いてお客様の問題を解決する提案型高機能フッ素樹脂製品

〈前列右から〉アジア技研(株) 溝口社長、計測検査(株) 坂本社長、熱産ヒート(株) 牛島会長、(株)村上精機工作所 橋本社長、(株)陽和 越出社長
〈後列右から〉熱産ヒート(株) 川口社長、北橋市長、石松産業経済局長、坂本講師

《オンリーワン企業認定式》

認定式では、北橋市長からアジア技研（株）の溝口純一社長、計測検査（株）の坂本敏弘社長、熱産ヒート（株）の牛島正祐会長、（株）村上精機工作所の橋本尚二社長、（株）陽和の越出理隆社長へ、それぞれ認定証が手渡されました。その後、市長あいさつに続き、認定企業5社による技術プレゼンテーションが行われました。

《記念講演会》
「元気印企業に学ぶこれからの経営戦略」
法政大学大学院教授　坂本　光司 氏

記念講演では、坂本講師から「好況でも不況でも業績が高い会社が元気印企業。元気印企業とそうでない企業は何が違うかと言うと、経営者が『正しい経営を行っているか』ということ。

経営者の仕事は大きく分けると三つ。①まず進むべき方向を示す。②そしてこの方向に向かって社員が努力したくなる良い環境を用意する。③そして社員を育てる。この三つしかない。

景気が悪い、業種や業態が悪い、規模が小さいなどを業績が悪い理由にすること自体、誤解であり、錯覚、甘えである。

経営者にとっての『正しい決断』とは、人本主義を貫き、業績よりは継続を重視し、多角・多面・多重・多層な人材をつくる、これが本当に人を幸せにする経営である。」と、全国の元気印企業の事例をもとにお話しいただきました。

また、結びに「今回の認定企業5社はとても良い会社。会場に来られている皆さんもぜひ、北九州オンリーワン企業にチャレンジしていただきたい。」とエールが送られました。

【問合せ先】北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：大西、吉武　TEL：093-873-1433

発行／(財)北九州産業学術推進機構（FAIS）中小企業支援センター TEL:093-873-1430 FAX:093-873-1450 http://www.ktc.ksrp.or.jp
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2番1号(JR九州工大前駅北側、北九州テクノセンタービル1階)

◆ 2011年版中小企業白書 ダイジェスト ◆ 前編

～震災からの復興と成長制約の克服～

今年の中小企業白書は、「中小企業の業況・生産は、総じて持ち直しの動きが見られたが、東日本大震災の影響により大幅に悪化している。」と最近の中小企業の動向を分析する一方で、「我が国の産業のサプライチェーンを担い、地域住民の生活を支えるなど、中小企業の重要性が再認識された。」と、その重要性を改めて指摘しています。

本号では、第１部「最近の中小企業の動向」及び第２部「経済社会を支える中小企業」の中から、中小企業がサプライチェーンの中核を担い、地域コミュニティの支えとなっている事例をご紹介します。

詳細は、中小企業庁のHP　http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.htmlをご覧ください。

＜事例２－１－５＞

元請企業の倒産を乗り越え、自社独自の製品メーカーへ進化した企業

奈良県奈良市の君岡鉄工株式会社（従業員21名、資本金1,000万円）は、仮設足場製品を製造する企業である。

同社は、1993年に売上の大部分を占める取引先が倒産し、突如大口得意先を失った。また、自社製品製造のための設備投資を行ったところに、売掛債権の焦げ付きが重なった。同社の君岡誠治社長は、中小企業倒産防止共済の貸付を受けるなどして運転資金を得て、既存の仮設足場の加工により売上を確保しながら、独自に開発した難地盤にも対応できる高性能鋼管杭「くい丸」の販路開拓に励んだ。1993年の経験からも一つの取引先に大きく依存すると経営リスクが高まると考え、全国各地を営業して回り、小口の注文にも対応して地道に販路を拡大していった。製品性能の高さもあって、同社の製品の認知度は次第に高まり、取引先も順調に増加して、元請企業の倒産という危機を乗り越えることができた。

最近では、仮設足場であった「くい丸」が東海旅客鉄道株式会社のレール基準杭として700キロにわたり採用されるなど、建築業界以外にも取引先を拡大している。さらに、関西大学との共同研究を行うことで、「くい丸」が様々な工事に採用される機会を拡大することに尽力しており、自社製品メーカーとして安定的な取引構造を実現している。

＜事例２－１－１３＞

インターネットで加工現場を動画発信することにより取引先を拡大し鯖江の眼鏡産業のゲートウェイを目指す企業

福井県鯖江市の株式会社西村金属（従業員30人、資本金1,500万円）は、地場産業である眼鏡の部品となる兆番やねじ等の精密加工製品を製造している企業である。

同社は、中国メーカーの台頭等により眼鏡生産が落ち込んでいた中、全国の従来まで取引関係のなかった新たな取引先を確保するために、2003年にチタン合金の精密加工部品の製造技術のインターネット動画配信を開始した。チタン合金は、強度性、軽量性、耐食性、耐熱性に優れる一方で、精錬や加工が難しく、費用がかかるため、航空機や潜水艦、自動車等の高性能部品のほか、高級眼鏡の部品や高価格のゴルフクラブ等にも使われている。眼鏡部品として、チタン合金の精密加工を手掛けていた同社は、一般的には「チタン合金が高くて加工しにくい。」というイメージがあるとは思っていなかった。

しかし、動画配信して自社技術を紹介した結果、全国の様々な企業から、チタン加工による製品、部品製造についての問い合わせが集まるようになり、改めて自社加工技術が他業界では様々な事業機会につながり得ることが分かった。

このような問い合わせの中には、自社の技術だけでは対応できない相談もあったことから、地元の様々な加工技術を有する眼鏡加工業者に仕事を依頼するようになり、次第に取引先を拡大させていった。

今後、同社は、自らが全国企業と地元企業をつなぐハブ企業となり、地元の中小企業の受注拡大による経済活性化に貢献したいと考えている。

＜事例２－１－２３＞

住民との対話から環境整備、イベント開催、宅配サービス等を行い、空き店舗が減少した商店街

島根県浜田市の紺屋町商店街は、JR 浜田駅から約1.2キロメートル離れた徒歩約15分の市街地に位置する商店街である。

同商店街では、浜田高速道路開通を契機として競合店が増加し、経営者の高齢化により空き店舗が増加するなど、衰退が進んでいた。また、1993年に実施した近隣住民を対象とするアンケートでは、近隣住民に対する認知度、知名度が低いことや環境面、サービス面等への不満が明らかになった。同商店街では、これを受け「人にやさしい対話のある街」を目指し、環境改善、サービス改善、空き店舗の減少に取り組むこととした。

まず、環境改善では、県や市の助成を受け、街路のカラー舗装、レトロ調の斬新なデザインの街路灯に更新した。サービス改善では、「商店街近代化講習会」を毎年実施し、各店舗の能力と意識の向上に努めている。さらに、土曜市、綱引き大会、食の市を始めとしたイベントを月に1回実施し、紺屋町商店街が市民に浸透するきっかけとなった。現在、近隣の幼稚園、保育園の園児の絵を商店街に飾る「未来のピカソ展」が、近隣の21の全ての保育園が参加する大好評のイベントとなっている。

こうした積極的な取組の結果、近年では出店希望者も多くなり、15年前に15店舗あった空き店舗が現在は2店舗に減少した。さらに、小学校や商業高校からの視察を受け入れるとともに、大学の大道芸部によるイベントを行うなど、地域に密着した商店街として発展し続けており、伝統文化や地域の核としてかけがえのない役割を担っている。

平成２３年度 第一回 自動車産業新規参入・取引拡大セミナー

「中小企業の危機管理・戦略的思考」 と「 震災後のサプライヤーマネジメント」をテーマに！

＜広島大学大学院　井上善海教授＞

北九州市は、７月１日（金）西日本総合展示場において「自動車産業新規参入・取引拡大セミナー」を開催しました。

今回は、ベンチャー企業や中小企業の経営戦略が専門の広島大学大学院井上善海教授と、自動車メーカーの部品調達に詳しい藤樹ビジネス研究所の藤樹邦彦代表にご講演いただきました。

井上教授は、経済環境が大きく変動する中で、企業の戦略を考える際には、注目する事象を一定期間、定点観測することによって、わずかな動きの変化でも見逃さない姿勢が有効であると指摘しました。また、逆さにした世界地図を使って、「アジアの位置関係を見ると、これからの日本の中心は日本海側であり、北九州市はその拠点に位置する」といった事例により、視点を変えることで新たな発見があることなど、戦略的思考についてお話しいただきました。

藤樹代表からは、今回の震災で自動車産業のサプライチェーンの弱点が表面化したことから、自動車メーカーでは複数発注、生産拠点の分散化、部品・部材の共通化、海外展開などの動きがこれまで以上に本格化していることについて、お話しいただきました。

【問合せ先】北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：沖田・中嶋　TEL：093-873-1433

平成２３年度「販路開拓支援プロジェクト」の支援企業・製品紹介②

中小企業支援センターでは、「販路開拓支援プロジェクト」として、独自の技術や製品を持つ中小企業を対象に、営業戦略構築から営業ルートの開拓まで一貫した支援を行っています。

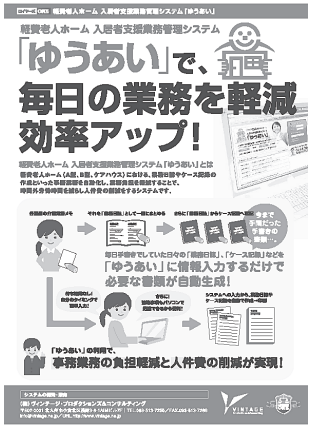
本年度当プロジェクトに選定された５製品について、シリーズで紹介しています。

軽費老人ホーム入居者支援業務管理システム「ゆうあい」

軽費老人ホームは、低額で利用できる老人福祉施設です。「ゆうあい」は、この軽費老人ホームにおける業務日誌等の作成事務を効率化するシステムです。

軽費老人ホームの職員がこれまで手書きしていたものを、「ゆうあい」を導入することにより、入力するだけで自動作成できます。開発にあたっては、ケアハウスの事業者と共同で行っており使いやすいシステムとなっております。

このシステムを導入することによって、事務を大幅に省力でき、職員間の情報共有化を図れるので、入居者へのサービスを拡充することができます。また、データセンターで業務データが保存されるため、災害時でも業務を継続できます。



ヴィンテージ・プロダクションズ＆コンサルティング株式会社（代表取締役：郷田和正）

小倉北区浅野 3-8-1AIM ビル 7F　TEL：093-513-7255　URL：http://www.vintage.ne.jp/

【事業内容】システム開発・企画、ホームページ企画・製作・運用、情報セキュリティ・コンサルティング、ネットワーク構築・運用等

【問合せ先】(財)北九州産業学術推進機構　中小企業支援センター　TEL:093-873-1430

大規模展示会等出展支援事業の助成企業10社が決まりました！！

北九州市は、平成 23 年度の「大規模展示会等出展支援事業」として、独自開発製品を東京ビッグサイト等で開催される大型展示会に出展する中小企業１０社に助成することを決定しました。（順不同）

企業名（所在地）	出展製品名 出展展示会	出展製品の概要
アジア技研（株）（小倉北区）	ｽﾀｯﾄﾞ溶接ﾛﾎﾞｯﾄ「ASR-1012C 型」 機械要素技術展 M-Tech 東京	精密板金加工品に専用ねじ（ｽﾀｯﾄﾞ）を溶接するｽﾀｯﾄﾞ溶接ﾛﾎﾞｯﾄ
（株）有薗製作所（八幡東区）	ﾓｼﾞｭｰﾙ型歩行器「ｽﾄﾗｲﾀﾞｰ」 H.C.R.　2011　国際福祉機器展	身体機能とｻｲｽﾞに合わせて調整・交換が可能なﾓｼﾞｭｰﾙ型歩行器
（株）石川鉄工所（八幡西区）	ﾊｲﾊﾟｰもぐりんこ 下水道展’11 東京	管渠ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ検査を超低ｺｽﾄで実施できる検査ﾛﾎﾞｯﾄ
板井築炉（株）（小倉北区）	ｾﾗﾐｯｸｽ加工品 国際ｾﾗﾐｯｸｽ総合展 2011	DVD の読み取り装置などに使用される薄型の放熱基板及びｾﾗﾐｯｸｽ製のﾈｼﾞや小型部品などの複雑形状加工品
㈱ｳﾞｨﾝﾃｰｼﾞ・ﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝｽﾞ＆ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ（小倉北区）	軽費老人ﾎｰﾑ入居者支援業務管理ｼｽﾃﾑ「ゆうあい」 HOSPEX　Japan　2011	軽費老人ﾎｰﾑにおける、施設利用料管理業務と支援業務管理業務の集計・書類作成作業を自動化するｼｽﾃﾑ
㈲小倉ｸﾘｴｰｼｮﾝ（小倉北区）	小倉織「縞縞　SHIMA-SHIMA」 ｲﾝﾃﾘｱﾗｲﾌｽﾀｲﾙ東京	地元の伝統工芸である小倉織を機械織で商品化したｲﾝﾃﾘｱ雑貨、小物、生地
（有）ふく太郎本部（門司区）	活天然ﾏﾌｸﾞを使用したふぐ寿司用のﾈﾀとﾌｨﾚ ｼﾞｬﾊﾟﾝ・ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ・ｼｰﾌｰﾄﾞｼｮｰ	春先から初夏にかけ獲れる活天然ﾏﾌｸﾞを使用した寿司ﾈﾀ及びﾌｨﾚ
㈱豊光社（小倉北区）	省ｴﾈ照明灯具「solana(ｿﾗﾅ)」 次世代照明技術展	液晶 TV 等で使用される、明るく長寿命な冷陰極管「CCFL」を二重構造にした省ｴﾈ照明灯具
㈱松島機械研究所（八幡西区）	ｽﾋﾟｰﾄﾞｽｲｯﾁ「見張ﾘｰﾅ」 粉体工業展大阪 2011	機械装置の回転異常を自動で検知するｽｲｯﾁ
（株）陽和（小倉南区）	細径のﾌｯ素樹脂ﾁｭｰﾌﾞの溶着技術 ﾒﾃﾞｨｶﾙﾃｸﾉﾛｼﾞｰ EXPO　医療機器　開発製造技術展	接合が難しいﾌｯ素樹脂を溶着する技術（PFA ﾋﾞｰﾄﾞﾚｽ®溶着技術）

【問合せ先】北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：大西、吉武　TEL：093-873-1433

公共事業における地元中小企業支援（東日本大震災関連）～北九州市から

東日本大震災を受けた今後の復興事業の進捗などにより、本市の公共事業についても資材の調達や工期の遅れなどの影響が懸念されます。このような公共事業への参加不安を解消するため、下記支援についてお知らせします。ご不明な点がございましたら、問合わせ先まで連絡のほどよろしくお願いします。

支援名	支援内容	問合わせ先
工事に対する柔軟な対応	東日本大震災の影響で建設資材の調達が困難となったことにより、当初工期内に工事の完了ができない場合は、工期の延長により対応し、履行遅延損害金の対象としません。	契約室管理課 582-2545
	高騰する主要資材については、設計単価を毎月見直しています。	技術監理室技術管理課 582-2045
	契約後、資材や燃料等の価格が高騰した場合、より適切な請負金額となるよう単品スライド条項の活用を図ります。	技術監理室技術管理課 582-2045
工事代金支払に対する対応	工事代金の支払いを毎週火曜日・金曜日に行うなど、支払い事務の迅速化を図ります。	会計室 582-2514
	簡便な手続きにより工事代金の支払いが可能となる中間前払金制度の周知と活用を図ります。	契約室管理課 582-2545

この紙は再生紙を使用しています。